

2008年度第1四半期業績の概況



三菱自動車工業株式会社

2008年7月29日

営業・経常利益とも増益、当期損益黒字化

(単位：億円,千台)

	FY07 1Q 実績①	FY08 1Q 実績②	差 ② - ①	FY08 1H '08/4/25 公表値
売上高	6,308	6,101	-207	12,500
営業利益	60	99	+39	150
経常利益	26	162	+136	100
当期利益	-82	103	+185	0
販売台数(小売)	338	314	-24	628

地域別販売台数実績【前年同期対比:小売ベース】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

FY08第1四半期実績の前年同期比増減

-7
(-15%)

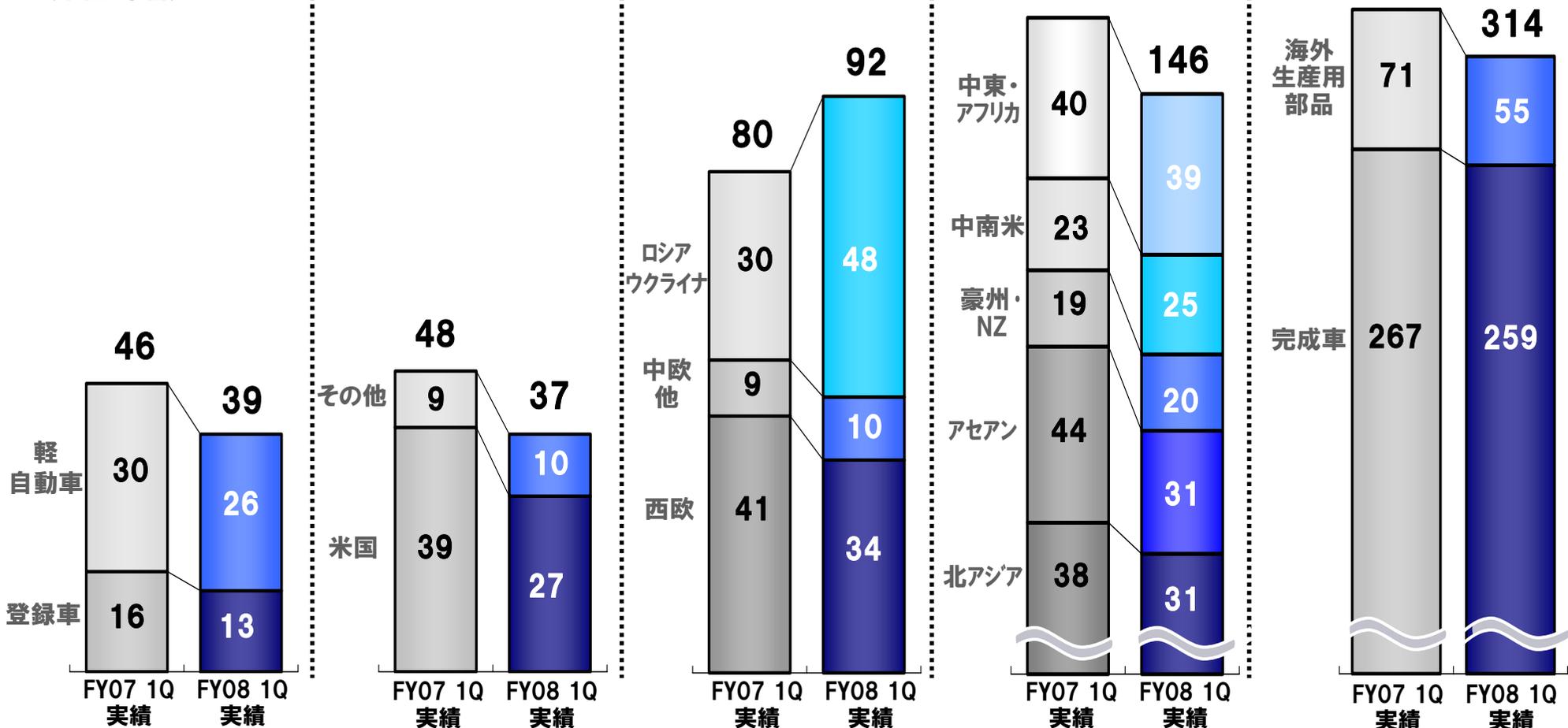
-11
(-23%)

+12
(+14%)

-18
(-11%)

-24
(-7%)

(単位:千台)



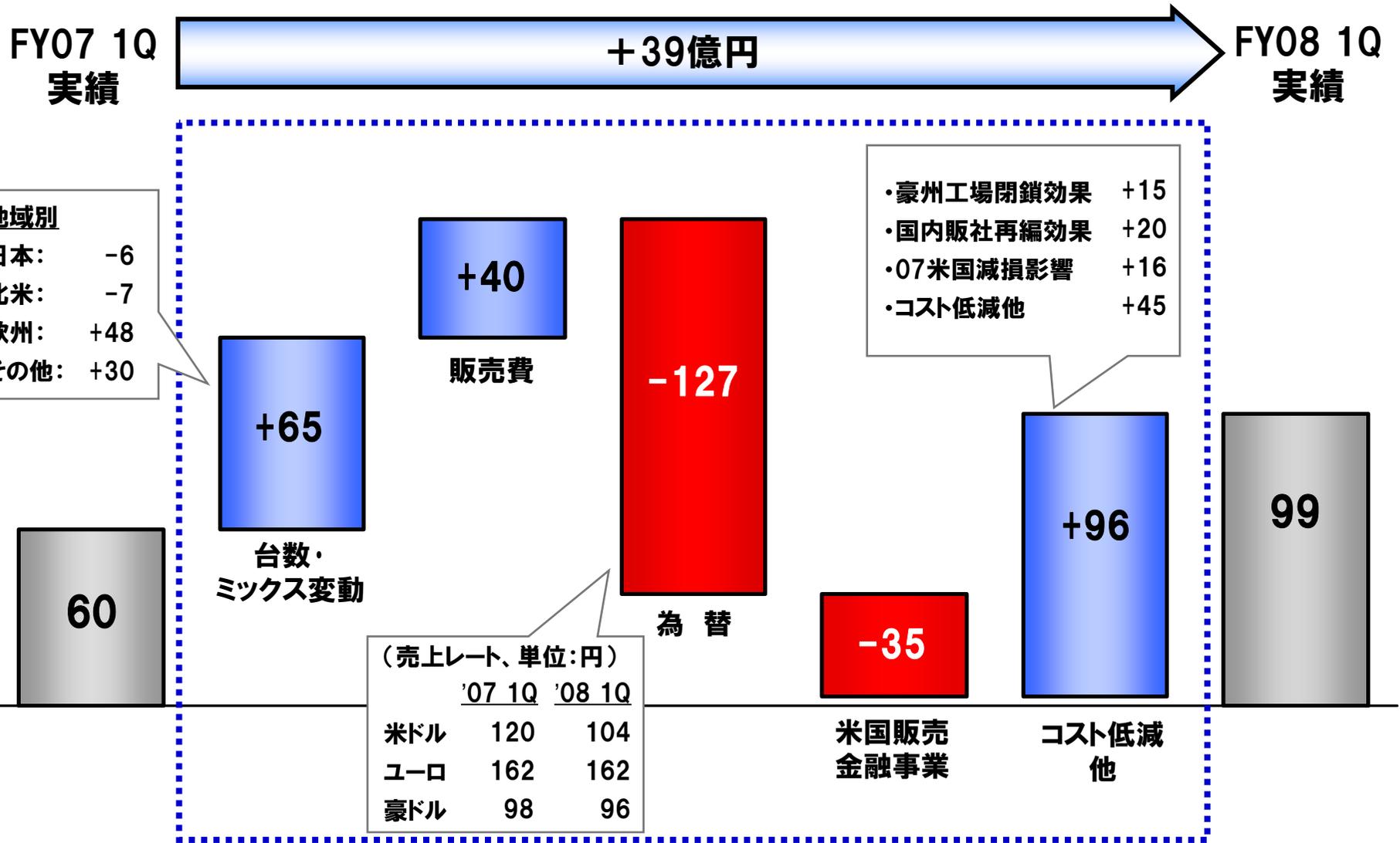
注)・販売台数はOEM供給を除く。08年度第1四半期販売台数実績は速報値。

・プエルトリコの台数は、07年度(4千台)、08年度(2千台)ともに中南米に含む。

営業利益増減分析【前年同期対比】

(単位：億円)

車種ミックスの好転、販売費減少等で増益



営業外損益、特別損益等【前年同期対比】

(単位：億円)

	FY07 1Q 実績①	FY08 1Q 実績②	差 ② - ①	
営業利益	60	99	+39	<div data-bbox="1616 499 1964 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主な内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利息収支 +24 ・外国為替差益 +63 </div>
営業外損益	-34	+63	+97	
経常利益	26	162	+136	<div data-bbox="1616 811 2055 985" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主な内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・07国内販社再編費用 +39 ・法人税等 +6 </div>
特別損益 及び法人税等	-108	-59	+49	
当期利益	-82	103	+185	

貸借対照表【前年度末対比】

(単位：億円)

	FY07末 ('08/3E)	FY08 1Q末 ('08/6E)	増減
資産合計	16,094	15,593	-501
うち 現金預金	3,559	3,558	-1
たな卸資産	2,996	2,552	-444
負債合計	12,813	12,416	-397
うち 有利子負債合計	3,539	3,320	-219
純資産合計	3,281	3,177	-104

■ 08年度1Q実績

営業・経常利益とも増益、当期損益黒字化

- 販売台数は、前年同期比93%。欧州で増加するも、日本、北米、アジア他の3地域で減少。
- 売上高は、為替の円高影響で減収（前年同期比97%）。
- 営業利益は、為替の悪化を台数・ミックスの改善、販売費削減などコスト低減効果により挽回し、増益。
- 経常利益は、利息収支改善、為替差益増加などにより、増益。

■ 08年度見通し

中間期・通期業績予想：変更せず

- 第2四半期も、引き続き新興国を中心とした販売好調や費用削減効果を見込めるが、日本・北米・西欧での販売動向、原油高、原材料高騰影響などの先行き不透明な要素もあり、慎重な見極めが必要。

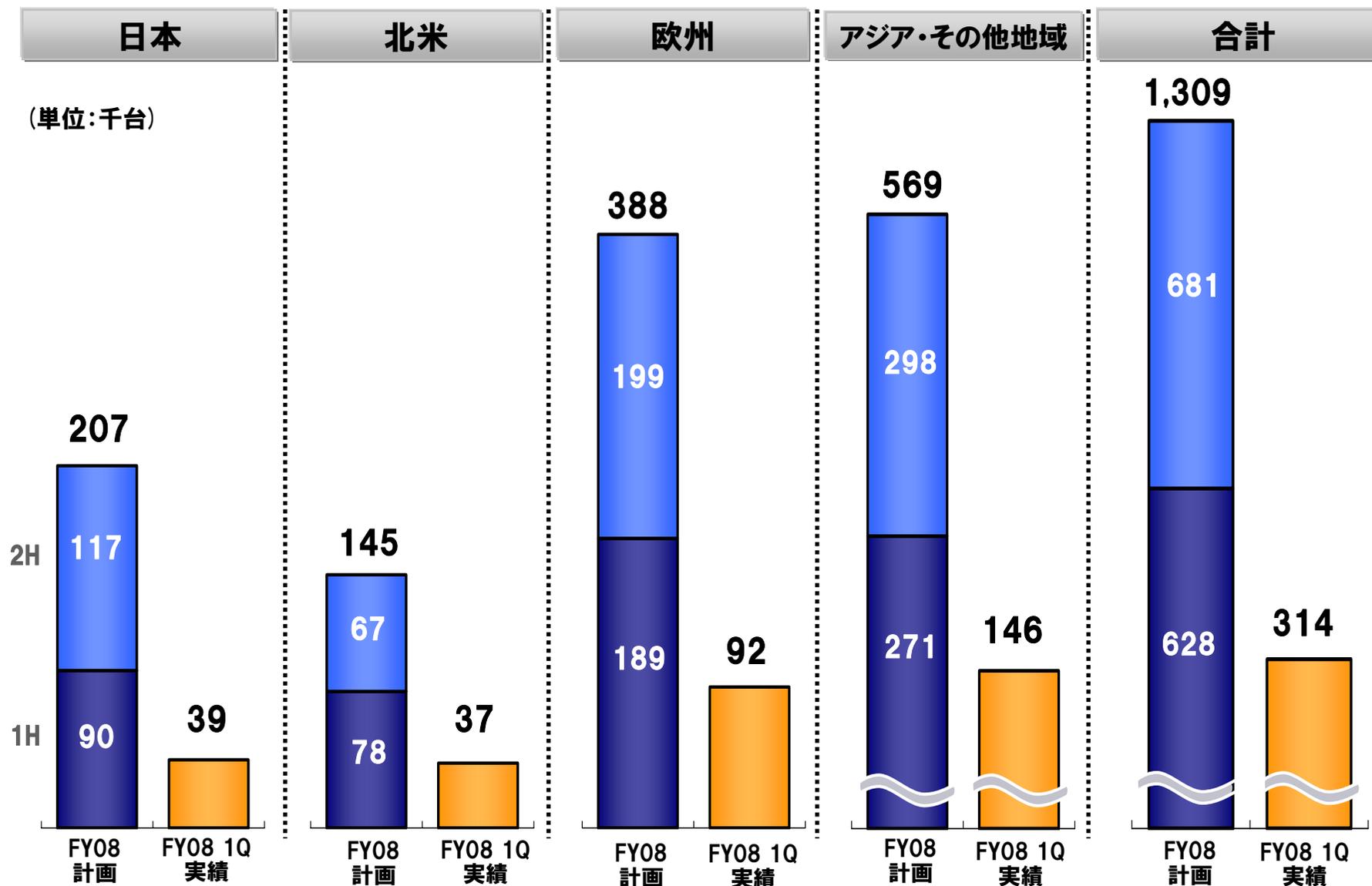
添付資料



地域別業績【前年同期対比】

	FY07 1Q	FY08 1Q	増減 ②-①	(単位：億円)	
	実績①	実績②		(参考) FY08 上期計画	(参考) FY08 通期計画
売上高	6,308	6,101	-207	12,500	26,500
- 日本	1,069	945	-124	2,300	5,200
- 北米	1,103	825	-278	1,600	3,000
- 欧州	2,267	2,230	-37	4,300	9,400
- アジア・ その他	1,869	2,101	+232	4,300	8,900
営業利益	60	99	+39	150	600
- 日本	-118	-44	+74	-80	-120
- 北米	-27	-55	-28	-120	-270
- 欧州	127	47	-80	60	270
- アジア・ その他	78	151	+73	290	720

地域別販売台数実績【計画対比:小売ベース】



注) 販売台数はOEM供給を除く。08年度第1四半期販売台数実績は速報値。

2008年4月

- ✓ 北京国際自動車ショーで、今秋より中国市場で発売する『ランサーエボリューション』を出展
- ✓ ミツビシ・モータース・タイランド、新エンジン工場の操業開始
- ✓ スタンダード・アンド・プアーズ、三菱自動車の長期会社格付を引き上げ(B→B+)、見通しは安定的

2008年5月

- ✓ PSAブジョー・シトロエン社、ロシアでの車両生産事業で合併契約締結
- ✓ ムーディーズ、三菱自動車の長期債務格付を引き上げ(Ba3→Ba2)、見通しはポジティブ

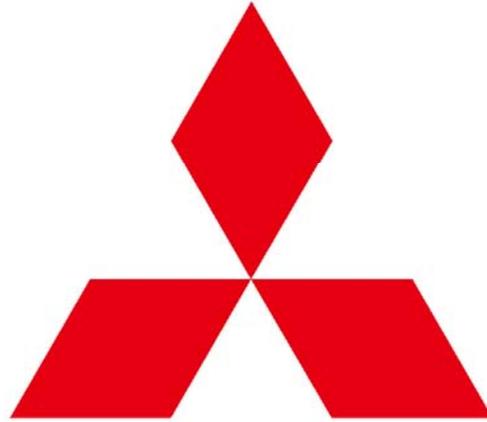
2008年6月

- ✓ 新世代電気自動車『i MiEV』で、7月7日～9日の北海道洞爺湖サミットへの協力を発表
- ✓ PSAブジョー・シトロエン社と、ロシア工場の起工式を実施
- ✓ PSAブジョー・シトロエン社の電気自動車用パワートレインの協業について発表
- ✓ 新・企業コミュニケーションワード『Drive@earth』を発表
- ✓ 中国ハルピンのパワートレイン合併会社へのA/Tに関するライセンス供与契約に調印
- ✓ 環境省が創設した「エコ・ファースト制度」における「エコ・ファーストの約束」を実施

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS